

科目名	カウンセリング			授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	配当学年時期		1年	前期
【授業の目的・ねらい】 対人援助を行う上で必要な、カウンセリング技術を演習を行いながら修得できる。								
【実務者経験】								
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士として対人援助を行うために必要とされるカウンセリングについてその基本的な知識と技術を理解できる。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 心理学の考え方を生かした対人援助技術の基本的な知識と技術を身につける。								
回数	講義内容							準備物(教材)
1	オリエンテーション（講義の目的と概要を理解できる）							
2	カウンセリングの理論について理解できる。							
3	カウンセリングの進め方について理解できる。							
4	カウンセリングの実際について理解できる。							
5	理論モデル① 各モデルの理論を理解できる。							
6	理論モデル② 各モデルの理論を理解できる。							
7	理論モデル③ 各モデルの理論を理解できる。							
8	技法モデル① 各モデルの技法を理解できる。							
9	技法モデル② 各モデルの技法を理解できる。							
10	技法モデル③ 各モデルの技法を理解できる。							
11	コミュニティモデルについて理解できる。							
12	演習① 演習によって基本的な知識と技術を身につける。							
13	演習② 演習によって基本的な知識と技術を身につける。							
14	演習③ 演習によって基本的な知識と技術を身につける。							
15	カウンセリング まとめ 知識と技術について総合的に理解できる。							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料								
【準備学習・時間外学習】 講義、演習の復習が必要です。 日常生活において対人援助を意識して心がけることが求められます。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。								